

## 研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

W-EB 導入前後での当院における分岐部動脈瘤に対する治療選択

### 1．研究の対象および研究対象期間

2012年1月から2030年12月に昭和大学病院脳神経外科で分岐部動脈瘤に対して治療を行った患者さん

### 2．研究目的・方法

分岐部動脈瘤に対する治療は、開頭術と血管内治療の2通りの治療法があります。血管内治療については、コイル塞栓術だけでなく、2020年12月からWoven EndoBridge（W-EB）が新たに国内で使用可能となりました。今回、当院で施行された分岐部動脈瘤に対するW-EB症例について、診療情報を用いて従来の治療方法と比較検討します。

### 3．研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2031年4月1日まで

### 4．研究に用いる試料・情報の種類

患者背景（性別、年齢、診断名、入院日、転入日、転棟日、退院日、在棟期間、入院期間、転帰、入院時入院形態、既往歴、内服薬、生活歴、社会歴）、CT/MRI/脳血管撮影での血管走行、治療の際に使用されたデバイス（ガイディングカテーテル、中間カテーテル、ワイヤー、W-EB）

### 5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

### 6．研究組織

研究責任者 昭和大学病院 脳神経外科 相浦 遼

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院脳神経外科

氏名：相浦 遼

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8605